

- 嘉手納町では、県産木材を利用した公共施設の整備費や備品購入費に森林環境譲与税を活用する方針としている。
- 令和7年度には以下の取組を実施し、子どもたちへ県産木材を身近に感じてもらうことで、木に親しむことができる環境をつくることを目的としている。
 - ・ 嘉手納町さんさん保育所及び嘉手納町子育て支援センターにおいて、県産木材を利用したキッズベンチ、案内板、フロアスタンド、園児用テーブルなどを備品として購入した。
- 令和8年度においても引き続き、嘉手納町さんさん保育所に対し県産木材を利用した備品を充実させ、木育の促進を進めて行くこととしている。

□ 事業内容

管理備品購入費

- ・ 町立の嘉手納幼稚園及び屋良幼稚園において、県産木材（リュウキュウマツ等）利用による手作りの木製品を備品として購入。

【事業費】1,688千円（うち譲与税1,611千円）

【実績】

- ①さんさん保育所：案内板、フロアスタンド、2人掛けベンチ、園児用テーブル、園児用椅子、キッズベンチ（1,109,900円）
- ②子育て支援センター：案内板、フロアスタンド、園児用椅子、2人掛けベンチ（578,600円）



（案内板）



（キッズベンチ）



（園児用テーブル＆椅子）

□ 工夫・留意した点

- ・ 県産木材を利用するため、県内の木製品製造会社へ発注した。
- ・ 備品購入費の予算額は、森林環境譲与税の譲与額を上回る金額にするために内部調整を図った。

□ 取組の背景

- ・ 本町の森林区域は町面積の17.2%あり、そのうちの97%が軍用地内に存在している。そのような状況もあり、林業従事者はなく、森林整備や人材育成に重きを置くよりも木育の促進を図る取り組みを実施する方針としている。

□ 取組の効果

- ・ 購入した木材製品により、子どもたちがテーブルで楽しそうに遊んだり制作に取り組む姿がみられるようになった。また、玄関ではキッズベンチのおかげで、座って靴を履けるようになり快適さが向上し、テーブルの上に積み木等を置くことで、送迎を待っている間の憩いの場としても活用されている。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：1,611千円		②私有林人工林面積（※1）：2ha	
③林野率（※1）：17.4%	④人口（※2）：13,211人	⑤林業就業者数（※3）：0人	

※1：「2025農林業センサス」より、※2：「R7国勢調査」より

※3：「R2国勢調査」より